

高く 広く 強く 豊かに

学校だより



2024（令和6）年5月29日
伊賀市立阿山中学校
No.3 伊賀市千貝 10番地
<http://www.iga.ed.jp/ayama-j/>

～3年生広島修学旅行の思い出～



3年生が5月8日（火）から二泊三日で広島へ修学旅行に行ってきました。
3日間とも晴天に恵まれ、子どもたちは全力で旅行を楽しみ、たくさんの出会いと発見をしてきました。
保護者のみなさまにはタイムライン等でお知らせしました修学旅行を写真で振り返ります。

<1日目…平和記念公園内被爆建物めぐり・広島平和記念資料館>



<2日目…広島市内・宮島班別自主活動+体験講座>



まっちゃもみじ

<3日目…ユニバーサル・スタジオ・ジャパン>



感想の一部を紹介します！

三日間がとにかく楽しすぎてあっという間に終わってしまいました！

◇一番印象に残っているのは、「宮島」です。抹茶のソフトクリームを食べた後、砂浜に行ってカニとヤドカリを探したり潮が引いているときに現れた砂地をとんで渡ったり…みんなと歩いた砂浜、厳島神社、大鳥居、商店街…どれもめっちゃテンション上がりました。杓子作りは思ったより難しかったけどいい物が出来ました。
◇一番の思い出は、広島市内でお昼ご飯を食べる場所が分からなくなってしまったことです。縮景園を出た後、みんなで「ご飯食べに行きますか！」と（計画していた店に）向かっている途中「あれ？ここどこ？」ってなったけど、みんなで頑張って探したのが、内心焦りもあったけど楽しくもあり、どきどきしました。結局時間はかかったけれどたどり着いて食べた牛丼はすごくおいしく感じました。

土産話がありすぎて、もう一つしゃべりました

家に帰ってから…

◇ほぼ3日間家族に会えなくても友達と一緒にだったからあんまり寂しくなかったけれど、家に着いて「おかえり」の声を聞いたただけですごく『ほっ』として安心しました。

2024(令和6)年度阿山中学校マニフェストです～よろしくお願ひします！～

※学期末に生徒のみなさん、保護者の皆さまに「学校教育」についてのアンケートをお願ひします。

《学校教育目標》

「あやま」を愛し、心豊かに、たくましく、ともに生きる生徒を育てる。

《めざす生徒像》



- *自他の生命および人権を大切にする生徒
- *自ら意欲的に学び、また、互いに学び合い、課題解決能力を持つ生徒
- *なかまとともにたくましく、目標に向かって最後までやりぬく生徒
- *『あやま』の人とともに「地域」を大切にし、国際社会に貢献できる生徒

取組目標	具体的な取組	評価目標 (生徒・保護者アンケート番号等)
【学力】 学び合い高め合う授業を展開し、わかる楽しさを仕組みます	①すべての授業で、主体的・対話的で深い学びをめざす。 ②家庭学習の定着を図る。(「自学ノート・タブレット」「週末課題」「読書」の推進)※メディアコントロールチャレンジによる家庭生活の見直し ③教職員の授業力向上を図り、探究的な学習をすすめる。	2.授業がわかる 85% 4.平日家庭学習90分以上 80%
【人権】 すべての生徒が安心して学べる学校づくりをすすめる中で、小中の連携を大切に、「なかまづくり」「自分づくり」「地域づくり」を推進します	①小・中学校を通した系統的な人権教育を推進する。 ②自立と共生に向けて必要な力を養う。 ③生徒との信頼関係を深め、いじめ等の早期発見・早期解決に努める(定期の教育相談 年3回以上・学習計画帳の活用) ④互いを尊重しコミュニケーション力豊かな生徒集団を育成する。(全校人権集会年2回・人権サークル週1回)	5.クラスのなかで、自分の思いや伝えたいことを安心して言える。 80% 6.自分には良いところがある 80% 7.先生は努力したことを認めてくれる 90% 8.信頼できる友だちがいる 90%
【キャリア】 「なりたい自分」を描き、夢・目標の実現をめざします	①その人の生き方に学ぶ場面として人との出会いを仕組む。 ②学校生活の向上に向けて行動する生徒を育成する。(挨拶・整理整頓・時間厳守/生徒会活動や部活動等での自律的な運営/本部役員と校長との面談等)	1.学校へ行くことは楽しい 85% 12.自分には夢・目標がある 80% 11.学校生活の約束を守って生活している 80%
【家庭・地域】 『あやま』の人とともに「地域」を大切にする子どもを育てます	①日常から、『あやま』に関心を持ち、おとなとも対話できる力をつける。 ②生徒が地域に発信したり、地域の方と対話したりできる機会を設定する。 ③地域と協働した取組を行う。(登下校指導・防災教育等)	(保)18. 学校は、家庭や地域とのつながりを大切にしている 90%
【働きやすい職場づくり】 職員が健康で、意欲と向上心を持って働ける環境にします	①職員同士の対話を中心とした相互理解と研鑽を大切にする。 ②過重労働・総勤務時間の縮減を行う。 ③コンプライアンス研修を行う。	(職)15.水曜日の定時退校 90% (職)17.コンプライアンスの意識を高めた 100%

